

事業コード	0050201	政策コード	01	政策名	秋田の未来につながるふるさと定着回帰戦略
事業名	地域の元気パワーアップ事業	施策コード	05	施策名	活力にあふれ、安心して暮らすことができる地域社会づくり
		指標コード	02	施策目標(指標)名	多様な主体との協働による地域づくりの推進
部局名	あきた未来創造	課室名	地域づくり推進課	班名	調整・地域活性化班
				(tel)	1237
				担当課長名	橋本 秀樹
				担当者名	安倍 華子

評 価 対 象 事 業 の 内 容

<p>1-1. 事業実施の背景(施策目標の達成のためになぜこの事業が必要であったのか) 人口減少や少子高齢化等を背景に、地域ではコミュニティの活力が低下し、従来の支え合いの仕組みの維持が困難になってきているため、次代の地域づくりを担う人材を育成し、地域活動の新陳代謝を図る必要がある。また、地域づくり団体の多くが財源や人材の確保、他地域の団体との連携不足等の課題を抱えているため、活動の成功の秘けつや資金調達ノウハウの共有、ネットワークづくり等を行うとともに、県民主体の取組を支援することによって、地域の活性化を図る。</p> <p>1-2. 外部環境の変化及び事業推進上又は完了後に明らかになった問題点 多くの地域づくり団体が、担い手不足やメンバーの固定化・高齢化等による活動の停滞という課題を抱えていることから、次代を担う若者の地域活性化に向けた想いや活動アイデアを実現するための環境を整備し、若い世代が主体となった地域づくり活動や地域活性化に向けた取組を促進する必要がある。</p> <p>2. 住民満足度の状況(事業終了後に把握したもの) 満足度を把握した対象 受益者 一般県民 (時期: 年 月) 満足度の把握方法 アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット その他の手法 (具体的に) 満足度の状況 研修の受講者、交流会の参加者にアンケート調査を実施</p> <p>3. 事業目的(どういう状態にしたかったのか) 人口減少下においても地域コミュニティの維持・活性化を図るため、周囲の人を巻き込みながら、これまでにない発想で地域の課題解決に取り組む地域づくりリーダーを養成するとともに、地域づくり団体のネットワーク化やノウハウの共有に向けた交流会の開催、県民主体の活動への支援等により「地域のことは地域で解決する」取組を全県域で展開する。</p> <p>4. 目的達成のための方法 事業の実施主体 県(一部委託) 事業の対象者・団体 県民 達成のための手段 ・県民の社会参加促進に向けた普及啓発活動 ・地域づくりリーダー養成研修の実施 ・地域づくり団体のネットワーク化やノウハウの共有に向けた交流会の開催 ・県民主体の地域活動への支援</p>	<p>5. 前回評価における指摘事項等</p> <p>指摘事項</p> <p>指摘事項への対応</p> <p>6. 事業の内容 事業概要及び推進状況 ・県内の高校や大学、企業、市町村等への訪問活動や、普及啓発ポスター等による広報活動により、若者の社会参加促進に向けた機運を醸成する。 ・自身がリーダーシップを持って地域の課題解決に取り組む意欲のある者を対象に、地域づくりリーダーに必要な知識の習得や地域活動の企画実施のためのスキルアップ、実践に向けたノウハウ等の習得など、自ら練り上げた企画の実践・検証までを一貫して学ぶ研修を実施することにより、将来の地域リーダー候補者を育成する。 ・全県域で、地域を元気にする活動がわき上がるよう、地域づくりに取り組もうとする人同士のネットワークづくりやノウハウの共有等を行う交流会を開催し、参加者同士の交流や、ノウハウの共有を促す。 ・地域のPRや交流人口の拡大が期待できるイベント、地域の課題解決に向けた講演会、学習会など、県民主体の取組を支援する。</p>																														
	事業年度 平成30年度 ~ 令和01年度																														
	単位(千円)																														
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>内 訳</th> <th>当初計画事業費</th> <th>最終事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域づくり人材育成事業</td> <td align="right">10,595</td> <td align="right">10,541</td> </tr> <tr> <td>秋田の元気発掘事業</td> <td align="right">3,204</td> <td align="right">3,180</td> </tr> <tr> <td>地域の元気づくり活動支援事業</td> <td align="right">6,220</td> <td align="right">5,467</td> </tr> <tr> <td></td> <td align="right">0</td> <td align="right">0</td> </tr> <tr> <td></td> <td align="right">0</td> <td align="right">0</td> </tr> <tr> <td align="center">事業費計</td> <td align="right">20,019</td> <td align="right">19,189</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源内訳</td> <td>国庫補助金</td> <td align="right">0</td> </tr> <tr> <td>県 債</td> <td align="right">0</td> </tr> <tr> <td>そ の 他</td> <td align="right">6,220</td> </tr> <tr> <td>一 般 財 源</td> <td align="right">13,799</td> </tr> </tbody> </table>	内 訳	当初計画事業費	最終事業費	地域づくり人材育成事業	10,595	10,541	秋田の元気発掘事業	3,204	3,180	地域の元気づくり活動支援事業	6,220	5,467		0	0		0	0	事業費計	20,019	19,189	財源内訳	国庫補助金	0	県 債	0	そ の 他	6,220	一 般 財 源	13,799
内 訳	当初計画事業費	最終事業費																													
地域づくり人材育成事業	10,595	10,541																													
秋田の元気発掘事業	3,204	3,180																													
地域の元気づくり活動支援事業	6,220	5,467																													
	0	0																													
	0	0																													
事業費計	20,019	19,189																													
財源内訳	国庫補助金	0																													
	県 債	0																													
	そ の 他	6,220																													
	一 般 財 源	13,799																													
	<p>当初計画及び最終の事業費比較</p> <p align="right">最終事業費 / 当初計画事業費 =(95.8)</p>																														

7. 事業の効果及び課題の改善状況

・若者の社会参加促進に向けた啓発活動を実施したほか、地域づくりリーダー養成研修を実施し、将来の地域づくりリーダー候補者を育成した。(20名) ・地域づくりに取り組もうとする人同士のネットワークづくりやノウハウの共有等を行う交流会を県内4地区で開催した。(延べ137名が参加) ・若者や移住者ならではの発想、視点を活かした地域の魅力の再発見や、交流人口の拡大につながる活動等を支援し、新たな地域づくり活動の立ち上げを促進した。(補助実績:16件)。

8. 事業の効果을把握するための手法及び効果の見込み

指標名	社会貢献に取り組む団体の活動に参加した若者の数								指標の種類
指標式	社会貢献に取り組む団体の活動に参加した若者の数								成果指標 業績指標
年度別の目標値(見込まれる効果) 低減目標指標 該当 非該当									
指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	01年度	全体	
目標a						10,500	11,500	22000	
実績b						12,484	17,110	29594	
b/a						118.9%	148.8%	134.5%	
データ等の出典	地域づくり推進課調べ								
把握する時期	当該年度中		月	翌年度	05月	翌々年度	月		

指標名									指標の種類
指標式									成果指標 業績指標
年度別の目標値(見込まれる効果) 低減目標指標 該当 非該当									
指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	01年度	全体	
目標a									0
実績b									0
a/b									
データ等の出典									
把握する時期	当該年度中		月	翌年度	月	翌々年度	月		

指標を設定できなかった場合の効果の把握方法

指標を設定できなかった理由

成果(見込まれる効果)

所管課の評価				評価結果	
有効性の観点	住民満足度の状況	a	b	c	A B C
	【b又はcの場合の分析】				
	事業の効果	適用の可否 可 不可			
	a 達成率100%以上	b 達成率80%以上100%未満	c 達成率80%未満		
	【b又はcの場合の理由】				
効率性の観点	事業の経済性の妥当性	適用の可否 可 不可			評価結果
		a 1.0~	b 0.8~1.0	c ~0.8	
	$\left[\frac{\text{事業終了後の効果}}{\text{最終事業費}} \right] / \left[\frac{\text{当初計画時の効果}}{\text{当初計画事業費}} \right] = 1.67$				
	【評価への適用不可、又はb、cの場合の理由】				
	A (妥当性が高い) B (概ね妥当である) C (妥当性が低い)				
総合評価	秋田の元気づくりをテーマにした交流会には延べ137名が参加し、参加者同士の交流やノウハウの共有を図られたほか、地域づくりリーダー養成研修の修了者による様々な活動が県内各地で展開されており、次代の地域づくりの担い手の育成に一定の役割を果たすことができたと考えられる。今後は、これまでの取組を発展させつつ、さらに若い世代の活躍を促進するため、若者の地域活性化に向けた想いや活動アイデアを実現するための環境を整備し、若い世代が主体となった地域づくり活動や地域活性化に向けた取組を促進するための施策を展開していく。				
指標を設定できなかった場合の効果の把握方法				評価結果の類似事業への反映状況等(対応方針)	
指標を設定できなかった理由					
成果(見込まれる効果)				政策評価委員会意見	

終了事業事後評価判定点検表

(様式5-1)

(1) 各評価項目の判定基準

観点	評価項目	判定基準	配点	1次	2次	評価結果	
ア有効性	一 住民満足度等の状況	a 住民満足度等を的確に把握しており、満足度も高い	2	2		A:有効性は高い (4点) B:有効性はある (1~3点) C:有効性は低い (0点)	
		b 住民満足度等を把握しているが、手法が的確でない又は満足度が高くない	1				
		c 住民満足度等を把握していない	0				
	二 事業目的の達成状況	a 目標値に対する達成率が全て100%以上	2	2			
		b a、c 以外の場合	1				
		c 目標値に対する達成率のいずれかが80%未満	0				
計			4	4		A	
イ効率性	一 事業の経済性の妥当性	a 当初計画時と事業終了後の事業効果を比較した値(注)が全て1.0以上	2	2		A:効率性は高い (2点) B:効率性はある (1点) C:効率性は低い (0点)	
		b a、c 以外の場合	1				
		c 当初計画時と事業終了後の事業効果を比較した値のいずれかが0.8未満	0				
	計			2	2		A

(注) 事業経済性の算定式

$$\left(\frac{\text{事業終了後の効果} / \text{最終事業費}}{\text{当初計画時の効果} / \text{当初計画時事業費}} \right)$$

上式で、効果とは事業の効果を把握するために設定した指標の実績値をいう。なお累積の実績値を設定している場合は、前年度からの差し引きによる「単年度増加分」を実績値として用います。

(2) 総合評価の判定基準

総合評価の区分	判定基準	総合評価	
A (妥当性が高い)	全ての観点の評価結果が「A」判定の場合	A	
B (概ね妥当である)	総合評価結果が「A」又は「C」以外の場合		
C (妥当性が低い)	全ての観点の評価結果が「C」判定の場合		